

TOKYO MX が EC 事業を拡大 東京都と連携し、日本の伝統工芸品を中国へ

東京メトロポリタンテレビジョン株式会社(本社：東京都千代田区、代表取締役社長：伊達寛、以下 TOKYO MX)は中国の越境 EC (電子商取引) プラットフォーム・寺庫 (SECOO 本社：中国北京、創設者/CEO：李日学) と業務提携し、日本全国の工芸品を中国に向けて販売する EC 事業を開始しました。また東京都と連携し、東京の伝統工芸品を積極的に中国に販売する予定です。

■新規 EC サイトの立ち上げ

中国で富裕層販売シェア最大規模となる海外嗜好品 EC プラットフォーム寺庫 (<http://www.secoo.com/>) の中に、TOKYO MX の公式販売店舗を本日 9 月 21 日に立ち上げました。(https://las.secoo.com/api/topic/topic_list_new?id=37622&pageid=topicNew/37622) 木目込み技術を用いた招き猫や大内人形、陶器の置物などの日本の伝統工芸品約 10 品を販売しています。



■TOKYO MX の EC 事業

TOKYO MX は今年 7 月から中国の越境 EC システム「LEGOVO」に出資し、中国の KOL (キー・オピニオン・リーダー：SNS で商品販売を行うインフルエンサー) とともに日本製の化粧品を販売する事業を手掛けてきました。本事業の様子は現在放送中の「明日どこ!？」(毎週土曜日 23:00~23:30 TOKYO MX2) でも紹介し、大きな反響を呼んできました。今回の業務提携によって、同システムで活用しながら、販売する商品カテゴリーを「工芸品」に拡大させます。

■都と連携

TOKYO MX は、東京都の「メディア活用販路開拓支援事業における中国での越境 EC 構築事業運営等業務委託」を受託し、東京都産品の中国に向けた越境 EC 施策を行います。2018 年 11 月上旬から 2019 年 3 月末まで東京都特設サイトを開設し、都内中小企業が製造する商品約 50 品を販売します。

■今後の展望

テレビ番組とも連携を進め、日本が世界に誇る匠の技術で作られた工芸品を中国に広めていきたいと考えています。TOKYO MX は、EC 事業を通して地方創生に寄与できるよう、取り組んで参ります。